

平成28年3月1日

各位

会社名 ゼネラルパッカー株式会社
代表者名 代表取締役社長 梅森 輝信
(コード: 6267 東証JASDAQ・名証第二部)
問い合わせ先 専務取締役 小関 幸太郎
電話番号 0568(23)3111(代表)

平成28年7月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成27年9月1日付当社「平成27年7月期決算短信[日本基準](非連結)」にて発表いたしました平成28年7月期第2四半期累計期間(平成27年8月1日～平成28年1月31日)の業績予想と本日発表の実績に差異が発生しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績との差異

平成28年7月期第2四半期累計期間個別業績予想と実績の差異
(平成27年8月1日～平成28年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成27年9月1日発表)	百万円 2,400	百万円 109	百万円 110	百万円 70	円 銭 39.38
今回実績(B)	2,145	153	153	102	57.68
増減額(B-A)	△254	44	43	32	—
増減率(%)	△10.6	40.3	39.5	46.5	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年7月期第2四半期)	2,158	168	173	120	67.75

※平成28年2月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 差異の発生理由

第2四半期累計期間の売上高につきましては、売上予定に対して高額案件で売上時期の遅延が複数発生したことから、前回発表予想を254百万円下回る結果となりました。

利益面につきましては、売上高の減収に伴い売上総利益が計画より減少したものの、研究開発費等の減少に伴い販売費及び一般管理費が計画を大きく下回ったことから、営業利益は前回発表予想から44百万円増加し、経常利益は前回発表予想から43百万円増加する結果となりました。

四半期純利益につきましては、税金費用の調整の結果、前回発表予想から32百万円増加する結果となりました。

なお、通期業績予想につきましては、平成27年9月1日付当社「平成27年7月期決算短信[日本基準](非連結)」にて発表した業績予想から変更はありません。

売上高につきましては、受注がほぼ計画通りに推移しており、第2四半期累計期間の減少差異は下半期でカバーできる見込みであることから、通期売上高は前回発表予想を変更していません。

利益面につきましては、下半期は、研究開発費と人件費等の増加に伴い販売費及び一般管理費が計画から増加する見通しとなり、下半期の営業利益は計画を下回る見込みであることから、通期の営業利益、経常利益、当期純利益は前回発表予想を変更しておりません。

(注) 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により上記予想と異なる可能性があります。

以 上